

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17H06114	研究期間	平成29(2017)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	多用途型日本手話言語データベース構築に関する研究	研究代表者 (所属・職)  (平成31年3月現在)	長嶋 祐二  (工学院大学・情報学部・教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、音声言語と比較して言語学的にも工学的にも遅れている日本手話研究を発展させるために、手話の単語、文章及び対話の各レベルから、言語学的な解析や手話工学分野で利用可能な多用途型日本手話データベースの構築とその方法論の検討を目的としている。</p> <p>データベース構築は順調に進んでおり、データベース公開に向けた準備も進められている。研究成果は内外に向けて多くの論文が発表されている。研究組織及び研究費の使用も効果的であり、これまでの進捗状況から、研究期間内にデータベースを構築するとして当初目的の達成が期待できる。</p>		